

うちゅうせん新聞

広報係 2006年4月7日(金曜日)発行

☆仙台市天文ボランティア会報☆

“うちゅうせん”全体会 [2005年の締めくくり]

3月18日(土) 14:00~17:00 21名の参加

議題としては全体会進行プログラム及びアンケートより問題点と抜粋。各係よりの1年のまとめと会計報告。来年度予定表、観望会予定など。

総務企画係:近々の花見の予定について(桜まつり) 研修係:月をテーマに勉強会を兼ね資料作りに今年度取り組みたい。

広報係:2006年度4回発行を目標にしています。

観望係:2005年度も多くの観望会をこなしました。2006年度も入っています。特に亘理図書館と山田市民センターから通年で複数回の要請が来ています。他は資料を参照して下さい。

ホームページを宝示戸さんが新たに作成されました。年間予定、新聞ダウンロードなど充実しました。

HP記入の注意点:①観望会会場や日時の詳細はホームページ等に明記しないようにする。月日は年間行事予定に載ります。メーリングリストで連絡は行いますがメーリングリスト対象外の方は個人で積極的に連絡を取り参加して下さい。②CDの取り扱いについて。画像等の著作権に触れる可能性があるため勉強用とし取り扱いに注意して下さい。

●観望会の際飲み物等の提供希望がありました。用意する難しさがあるので、従来通り参加者に500円を渡すことで承認されました。寒い時のドリンクなどは、各自で準備願います。●高速道でETC料金について本人申告となります。観望会の領収書に書いて下さい。●うちゅうせんのCDをもらっていない人は西口さんまで申し出てください。●ビンゴ景品について 安くて良い景品を見つけたら定例会などで見せてください。また、参加費を取っている観望会もあるということで事前に分からない事もあります。そういう観望会もあるということ覚えておいて下さい。

参加者感想 :割と活発に意見交換もされて、とても良い全体会だったと思います。しかも、進行がスムーズで、きっちり2時間で終わりました。個人的には、司会をしてくださった大石さんの取りまとめがとてもよかったです。 (吉)

前号の発行が遅れたため、前号との間隔が短くなりましたが、発行ペースを従来通り維持していくよう、お届けします。年度の変り目で忙しいかと思われそうですが、新年度の体制をしっかり整えていきたいと思います。

全体会後の仕上げ (18:00~21:30)

恒例の全体会後の仕上げは、やはり恒例の銀座ライオン1番町店で23名が集まり賑やかに行われました。全体会後の時間が長かったからか、仙台時間のためなのか集まりが遅く30分遅れの6時半にスタートしました。

2時間の飲み放題が終わった後も、話は終わることなく結局3時間、誰も席を立たずに17年度を楽しく締めくくりました。

この中で、全体会で確認しなかった永井代表(船長)の続投が全員一致で決まりました。また、天文ボランティア要請講座を修了し参加された5名(2名乗船済み)に活動内容や雰囲気を知っていたので、これから一人でも多く参加され一緒に活動ができることを期待しています。

天文台からは船長と高橋さんの参加もあり、星に関するものからまったく別の話題まで時間が短く感じられました。参加の皆さんありがとうございました。



仕上げ・模様



全体会の様子

例会より

2月3日(金) 15:00~16:30 参加者8名

観望会報告:2月4日の太白小:参加者130名うちゅうせん6名(宝示戸さんも参加)根白石:参加者15名うちゅうせん4名で行いました。

観望会予定:3月6,7,8日いずれか塩釜二小4年行事参加者は100名程の予定

連絡:長瀨小の観望会の様子が河北新報に載りました。中里小よりお手紙が来ました。お菓子も一緒にこの会に参加した人はラッキーでした。次の例会日2月18日に渡部潤一さんの講演会があり、その後の懇親会に希望者は参加できます!

総会打ち上げ会場決定3月18日ライオンにて(ボランティア養成講座の卒業生にも声かけします) 総会アンケートの返信を18日までをお願いします!

2月18日(土) 15:00~17:30 参加者14名

18時からの天文学普及講演会準備のため椅子だけ並べた講義室の真ん中で14名(内オブザーバ1名)の参加でした。今後の観望会予定のほか、18年度は4半期毎の定期的な開催の依頼があるとのことで年度末を感じさせる内容でした。来月の全体会の出欠連絡(アンケート)がまだ、20名ほどしか集まってないとのことですが、返事が無ければ退会扱いになりますのでご注意ください!(再乗船は可能ですが)また、ボランティア養成講座終了者への全体会後の仕上げへの誘いをすることが決まりました。新しい年度はフレッシュさも必要ですからね。

その後、水の森での観望会依頼のため4名参加するとのことで早めに終了しました。終わる頃には16名になり全体会を思わせる参加人数でした。

講演会を聞く人は、時間調整のため食事に出かけていました。

3月3日(金) 19:00~21:00 7名の参加

全体会前の最後の例会は、ひな祭り重なったこともあるためか(?)7名参加でこじんまりと行われました。翌週の塩釜西小観望会打合せと全体会、仕上げの出欠状況を確認し、その後の大半は雑談でした。永井船長の携帯取替えレポートとトルコ日食ツアーの準備状況がメインで後はいつもの近況報告でした。観望会について 今後6回分予定あり。内3回リーダーを決め、参加者はホームページで呼びかける事にしました。

昔地球の自転は違っていた!

地質学者によって、およそ7億5千万年前の海岸線近くに、潮汐の跡を留めている堆積物が発見された。岩盤には堆積物が層を成しており、ある特定の年代のあいだにできた層を数えてみると、かつて地球は約18時間周期で自転していたという結果が出てきた。これに関するアリゾナ大学の天文学者たちの論文が、1996年7月5日号の「サイエンス」に載っている。ユタ州、インディアナ州、アラバマ州、およびオーストラリアで、潮汐が残した堆積物の地層を調べてみたところ、9億年ほど前には1日の長さは18時間で、1年が481日だったことがわかった。



2005年トピックス<1年間の活動から>



花見:良い花見頃でした

春合宿:土佐先生の話聞く、天気も良い



天文台50周年式典

秋合宿:石川町行事参加



新乗組員紹介◆宝示戸さん・(2005.夏乗船)

2003年の火星大接近のとき、仙台市天文台よりよく見えると思ひ、浄土平の天文台に行きました。

火星や星空の綺麗さは、期待したほどではなかったですが、地元ボランティアからいろいろ親切に教えていただきこういうボランティアなら私も是非やってみたくて思いました。そのとき、簡単な双眼鏡でも昴が見えることを教わりました。それ以来、何回か練習し、昴は、簡単に探せるようになりました。

自分なりにいろいろなサイズの双眼鏡やケンコーのおもちゃの反射鏡などを手に入れて、昴を見てみましたが、倍率が高かったりして、満足することはなかったです。

仙台天文台には、浄土平以来、ほぼ一ヶ月に一度はプラネリウムや観望会に参加していました。しかし、一年を通して、天文台の観望会で星が見れたのはほんの数える程度しかありませんでした。

昨年の7月のプラネタリウムのとき、天文ボランティア養成講座の募集を知り早速、申し込みました。一昨年の募集のときもプラネタリウムを見に行っていたはずですが、そのときは全く気がつきませんでした。そして、昨年の八月末から開催された仙台天文台の天文ボランティア養成講座に参加し、今年の3月11日に、無事、修了証書をもらいました。天文ボランティア“うちゅうせん”には第一回目の講座のとき、講座の修了前でもいつでも加入できると聞いて、その日に申し込みました。それ以来、観望会に何回も参加させていただき、皆さんの持ってきたすばらしい望遠鏡で、いろいろな星をたくさん、見せていただきました。

昨年の、天文台での観望会のときは、大雪が降って、天文台に到着するのも1時間くらい遅れてしまったほどでした。しかし、音楽会が終わるころは、雲間に昴も火星も永井船長の望遠鏡で見ることが出来ました。参加者も感激していました。曇天のときもありましたが、曇天バージョンの内容は完璧ですばらしくとても勉強になります。とにかく、観望会は晴れても曇っても、素晴らしいです。何度でも行きたいです。冬空は、綺麗ですが、寒いのが難点ですね。

中学の時、ボール紙を巻いて作った望遠鏡と木で作った経緯台で、月のクレーターを見たときの感動が星空への興味の始まりでした。しかし、“うちゅうせん”のように星のことをいろいろ教えてくれる人はいなかったの、どれが、土星でどれが火星かも分からなかったです。それが、分かっていたら、あの手作り望遠鏡で土星の輪も見えたかもしれません。

千葉県柏に住んでいたのですが、東京の渋谷に初めてプラネタリウムが出来た時は、わざわざ、見に行きました。東京の高等学校へ通うようになってからは、何度か、プラネタリウムに行きました。それ以来のプラネタリウムファンでもあります。ボランティア活動は宮城県国際交流協会の日本語ボランティア教師や医療通訳、その他松島善意通訳者の会で外国人への観光案内などいろいろやっていますが、“うちゅうせん”の活動を通じて、子供たちと、星空の素晴らしさと感動を分かちあいたいと思っています。よろしく、お願いいたします。

▼ささき☆*:・°さん・(2006.2月乗船)

初めまして、星空のファンになったのは物心着いた頃に見た流星群です。それから自分の目で観れる天体ショーを追いかけてウン十数年…今では娘と星空を眺めています。今後観望会に娘と参加致しますので、よろしくお願い致します。

今回は、昨年度のボランティア養成講座修了生に登場していただきました。随時乗船受付中です。修了生の皆さんぜひ仲間入りしてください。(広報係)

天文台レポート 2月18日18:30～天文学普及講演会

講師は国立天文台の渡部潤一助教授でした。渡部先生はこれまで彗星をはじめ天文についての市民向けの本を数多く著作され、メディアを通じた広報活動も手広く尽力されて来た方です。今回は「太陽系の果てを探るー第十惑星はあるのか?ー」という題目で、冥王星の外側の惑星探査の最近の報告について話されました。

第九惑星・冥王星が発見された後でも、新たな惑星を発見しようとする活動は続けられて来ました。1990年代以来、CCD等の観測技術の向上により、冥王星の外側で小惑星位の大きさで太陽の周りを公転している天体が数多く発見されました。先ず、冥王星と同程度の大きさの軌道で公転している天体が幾つか発見されました。続けて、軌道の中心が太陽から著しく離れ、楕円軌道の扁平率(楕円のつぶれた度合い)が大きく、しかも黄道面に対する軌道の傾きも大きい天体が次々と発見されました。軌道が大きくずれているのは、惑星の引力によるのではないかと考えられています。

新たに発見された天体は、彗星の源とも考えられている「エッジワース・カイパー・ベルト」と呼ばれる冥王星の外側に帯状に分布する天体群中のものだと考えられ、彗星の進化を推測するのに重要な手掛かりを与えるものとも考えられます。更に、太陽系外縁部の天体は、化石のように太陽系の形成初期の状態を保持していると考えられるので、太陽系の形成過程を探る上でもこれらの天体の探究は極めて有用と言えます。冥王星はこれらの天体の特殊な形態である可能性もあります。太陽系外縁部への飛翔体による直接探査、地上観測装置の技術の向上、惑星や天体どうしの引力の働きによる軌道のずれを調べる事によって太陽系外縁部の天体は更に発見され、第十惑星と同定される天体が発見される日が来るかも知れません。

渡部先生の話は、太陽系の果ての未知の世界を探究する魅力を聴衆に伝えたものと言えます。講演終了後も質疑応答が活発に行われ、盛況のうちに講演会が終わりました。ー 例会後に行なわれた講演会の様子でしたー

観望会より

水の森キャンプ場・観望会 2月18日(土)17:30

～20:00 参加者:親子30人 うちゅうせん:4人 例会終了後天文台を出発。5台の望遠鏡を設置し、参加者を待ちました。

薄明と曇り空で星が見られないため室内で挨拶の後、お話・オリオンとさそりを終える頃に土星が見えてきました！

すばるは分厚い雲の中で見る事が出来ませんでした。土星・オリオン大星雲を中心に楽しんでもらう事が出来ました。何時もの事ながら土星を見た時のインパクトが強いようです。複数の望遠鏡で土星を見たお婆さんが、あっちは横でこっちが縦どちらの土星が本物ですか？

見えにくくなって来たのが19時。雲が出てきたため、再度中に入ってもらいビンゴゲームで盛り上がり、賞品の天文シールの解説要望があり、全16枚の説明をしました。帰る時にはすばるも顔を出し、皆さんに満足してもらえました。この後どんどんお天気が良くなり、渡部潤一さんを囲む懇親会を終え、23時頃市民広場に行ったら、ライブ実施中で望遠鏡がナント！5台も並んでいました。

お知らせ 4月15日(土) 16:00頃より西公園で恒例お花見会を実施します。当日は15:00～天文台講義室で定例会がありますので開始時刻は流動的です。会費は500円〔酒代を除く〕 当日集金します。(総務企画係)

編集後記

★一年は早いもの、また1年、トシを重ねてしまいました。日々を重ねてはいますが子供に比べてみると、なんと進歩の無いことか。あえて目標を持たずに楽しむことをやってみよう。それが長続きするボランティアでしょうか。(マイペース 辺)

☆新しい広報部員が加入してうれしいです。今年度は観望会の日のお天気が良い事を祈ってます。(中)

★いざ文章を書こうとすると、いつも億劫になってしまって先延ばしにしてしまう傾向からなかなか脱却できないままです。すらすらと文章が書けるようになるにはどうしたらいいか、相変わらず頭を抱えています。(今)

塩釜二小学校・観望会 3月7日(火)17:30～20:00

参加者: 4年生70人+親30人 うちゅうせん:7人

朝から今年一番の青空・夜まで晴れの予報も出ていましたし、今夜こそ土星やお月様を見て貰えると確信を持って塩釜に向かったんですが・・・近付くにつれて雲行きが怪しくなって来ました。学校に着いたときには、星を見るのは諦めざるをえないお天気でした。日中のお天気から、順延は誰もが考えてなかったでしょう！

担当の先生にその旨伝え、準備に取り掛かりましたが「星も見たかったけど曇天バージョンとやらも体験してみたかった」と言われました。

自己紹介の後、近藤さんの「今月の星空」説明・その後百合さんが「オリオンとさそり」絵美ちゃんが「銀河鉄道の夜」を終えた時で20時前。当初言われていた終了時刻でしたが、星座ビンゴの予告もしていたので、先生に確認したら30分くらい遅くなるのはかまわないので是非やって下さい・といわれ大石さん主導でビンゴ開始しました。何時も盛り上がりませんが、今夜の盛り上がりは凄まじかったです。カードは引きたいはリーチ・ビンゴとものすごい騒ぎです。

賞品は子供達対象に誕生星座の絵葉書を渡しました。

